

カンキツ類の植え付け

植付け

植付けの適期は3月で日当たりのよい場所に植え穴を掘り、下層には堆肥や溶リンを入れて混和する。苗木は細根のよく発達した健全苗を選ぶ。太い根は切りつめておくと根の発達がよくなる。乾燥をさせないように水を十分に与える。植替えは6月にも行うことができる

土壌条件

一般に柑橘類は乾燥に強いのが特色で、土壌を選ばないが、排水性・保水性のよい肥沃な土壌を好む。土壌pHは6前後の微酸性土壌がよい。樹の生育をよくするためには、有機質の多用による土づくりが望まれる。

繁殖

柑橘類はふつう接木繁殖を行う。苗木をつくるには、台木はカラタチを利用し、切接ぎは4～5月に、芽接ぎは8～9月に行う。品種更新のための高接ぎは4月に、切接ぎと腹接ぎを併用する。

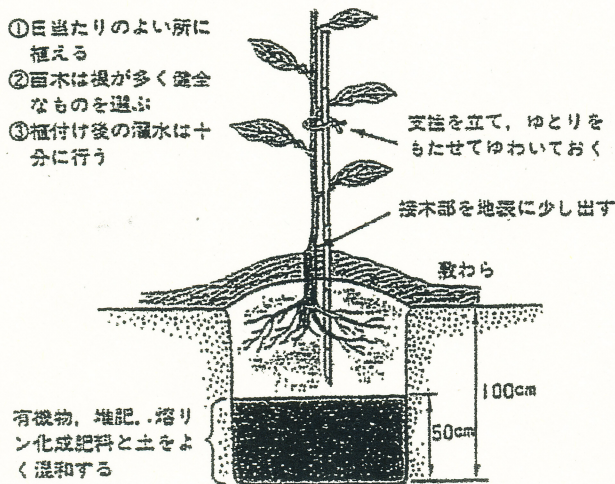
よい苗木の選び方

果樹は永年性の作物であるため、一度植え付けると簡単にとりかえるわけにはいかない。また、結実してみたら期待していたものとまったくちがう実がなったということでは困る。したがって、種苗店で苗木を購入する場合には、次のような点に注意したい。

- 1)信用のある種苗店で購入する。
- 2)系統の正しい品種か確認する。
- 3)地上部がずんぐりとよく充実している。
- 4)根群が良く発達している。
- 5)病虫害、特にカイガラムシなどが付着していない。

なお、苗木は永年栽培することになるので、価格は多少高くでもできるだけ優良なものを購入すべきで、そのほうが長い目でみるとずっと得策である。

柑橘類の植付け方



よい苗の選び方

